（大正八年三月七日第三種郵便物認可）

廿七日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

單獨開業を標準として
磐城銀行の整理案
新頭取は安島重三郎氏
認可次第具体案發表

休業中の磐城銀行に公金十九萬余圓を預金してゐる石城郡内各種團体の預金者委員會は二十七日午後一時から平町元石城郡役所に開いたが、磐城銀行側から白井博之、安島重三郎兩氏出席し、後任頭取として安島重三郎氏が就任を承諾したからその認可を大藏省に提出し認可あり次第整理案を發表する旨を告げ散會したが、新重役の選任は安島重三郎氏に一任する由で專務取締役には故木田織江氏の令息剛氏が就任するものと見られてゐる、その外永山德一氏も重役に加はるらしい。整理案内容は仄聞する處によると資本金七十五萬圓を三分の一二十五萬圓に減資し開業資金として白井家その他重役が二十五萬圓を調達し、百圓未滿の小口預金は即時に支拂ひを斷行し大口預金はその幾割かを切捨てる方針で結局單獨開業を標準とした整理案である。

水族館と試驗所
小名濱町に設置
農林省技師出張して
詳細なる協議を遂ぐ

農林省では大平洋沿岸の中心地に水族館並に漁撈試驗所を設置す可く場所を詮衡中であつたが小名濱と決定したので二十六日農林省から技師が小名濱町に出張し同町當局並に有志と詳細なる協議を遂げたが、敷地は六千坪で之は小名濱町で寄附する事に決定費用の一部は縣補助及び小名濱町で寄附する事になつた

▲滿蒙事情講演會

滿蒙事情講演會は廿七日午後七時から平町元石城郡役所會議室に開き南滿鐵道株式會社の長野朗氏、佐藤貞次郎氏の講演がある

非常に多い
印紙違反者

平稅務署では去る十六日から二十六日まで十日間に亘り平町、湯本町の定期印紙稅檢査を執行したところ平町では百二十余件湯本町六十余件、合計約二百件の違反が上つたので稅務當局では驚いて居るが、この、小名濱、四倉の各町に對しても一齊に檢査を執行して違反者は十圓乃至五圓の科料に處する方針であると。

川部村議
けふ改選

石城郡大浦村四倉製糸工場の男女工八十余名は過般結束して同盟罷業を行つた旨既報の如くであるが、その眞相を調査した處による、工場主が鹵買入のため出張不在中なるを奇貨とし某有力製糸會社が女工奪取の陰謀を企てゝ魔の手を延しその紛擾に乘じて女工數名を奪ひ去つたものである事が判明したが、右について四倉製糸場池田氏の語る處によると、女工の一人が病氣で歸國する旅費を請求したのを誇大に宣傳し同盟罷業の材料にしたものであると。

四倉製糸の罷業は
某製糸會社の陰謀

川部村會議員選擧は二十七日執行されるが、同村は從來定員十八名の處炭礦が不況に逢ひ何れも閉鎖した結果人口激減し今期は定員十二名となつたが相當激戰を呈した。

水田に
害虫發生

石城地方の田植は昨今七分通り終了したが最近に至り全部に亘り稻苗の枯死するものが續出したので農家では大狼狽を極め病苗を拔き取り補植してゐるが農試分場で調査の結果黃斑萎縮病と判明したので郡農會と協力しこれが豫防對策を講じてゐるが原因は過般の大洪水及天候不順の結果斯く蔓延したものと見られてゐる。

鮎解禁日近づく
數が少ない上に發育不良

大公望連が腕を撫でゝ待ちわびてゐた鮎漁は愈々來る七月一日から解禁されるが、地方で鮎の最も多いのは久慈川、鮫川、宇田川、新田川その他小さな川にも大抵は住んでゐるが今年は各方面とも數も少なく育ちも惡く今時は盛んに上つてくるのに今年は余り姿を見せず、大きさもせいぜい三四寸位である。この原因は寒中に余り寒さが强かつたためといふ說もあるが、大体鮎漁は一年おきに不漁で昨年は豊漁であつたが本年はこんな狀態であるといふ。何れにしても天狗連の失望が甚だしい。

原町通信

原町會大混亂
遂に負傷者を出す

廿六日午後一時より開催の第三次原町會は豫て審議中の無効投票決定日の爲め多數の傍聽者ありしが議會開會に先立ち訴願者佐藤正治郎より訴願取下げを提起せるにより一般傍聽者は憤慨し其半面に買收の魔手延びたるものとなし町議開會中に係らず傍聽中の金子清一が訴願者佐藤に鐵拳を振ひたるより議場は一大騷擾化し結局議會は流會に終り金子は輕微なる負傷をなせり

未定なりし原町議士木工事員は左の諸氏に決定せり。

▲門馬永松▲長谷川三郎▲廣川實▲佐藤儀平▲木幡德松

▲縣社太田神社役員會　野馬追祭執行に關し太田神社にては二十六日同社務所に於て役員會を開催せり。

▲石神村馬場鐵山溜池　石神村大字馬場字鐵山に溜池起工の爲め本縣土木技師桑並に木村の兩氏實地調査に出張せり。

▲各濱鰯の大漁　相馬郡澁佐濱烏濱、萱濱、雫濱の各濱は本年度中になき鰯の大漁にて意外の收獲に悅び居れり。

▲相馬野馬追祭禮近づく　例年大祭典を執行する野馬追祭は七月十一日宵乘祭、十二日野馬追祭、十三日野馬掛祭なるが本年度は各宮殿下の御臨幸を忝ふせる筈なるが各地方も桑葉の高價なりしと繭價の案外高價なるため相當賑やかなるべし。

▲小高巡査駐在所昇格　相馬郡小高町は在來駐在所なりしが今回原町警察署部長派出所となし部長一名、巡査一名の在勤を見部長は阿部清、巡査は添田氏にて二十二日より事務開始せり。

▲原町信用組合の專務理事　原町信用組合は嘗て縣下の模範組合として名聲を博せるが專務理事谷貞之進氏の不慮後兎角の風評あり種々問題を釀しつゝありしが今回現原町役場收入役として勤務中の涉佐數衛氏を谷氏の補缺として詮衡せるやの風聞あるも同氏は收入役を辭するには豫想外の難關あるらしく若し具体化せんとするには相當波亂も起るならんと。

臨屋崎無電
七月から着工

既報石城郡豊間村塩屋岬燈臺への無電建設入札は去る二十二日横濱に於て執行し落札となつたのでいよ〳〵來る七月一日頃から着工する由であるが工費は二十萬圓である、なほ竣工は十月頃となる豫定であると。

見よや野馬追

相馬郡石神村　渡部周藏作歌
野口雨情修補

今や昭和の大みよか
治に居て亂を忘れざる
元龜天正忍び緒の
兜の星を輝かし
武練のさまを今に見る
帝都を北へ七十里
靜けき山や荒浪の
浪音高く聞えたる
六萬石の舊相馬
雲雀が原の野馬祭り
遠きみ祖の血を承けて
平和の野邊に鋤をとる
若武者原が今日晴れて
小手脛當に身を堅め
着るやひをどし大鎧
旗指し物に威かめしく
馬は逸物手綱くる
手練の乘人悠々と
雲雀が原に練り行けば
吹や法螺貝陣太鼓
五月の空をどよもして
やがてのろひの音高く
轟きわたる稻妻や
此處亂軍の人馬の聲
神旗閃く只中に
汗馬を驅て諸共に
功名きそふますらをが
雲霞の如く荒馬を
鞭音高く我先に
追も入れたり妙見社
蕭々集ふ武士の群れ
本陣山の陣前に
頂く賞もあなたふと
其いさほしや武士の華
見よや尙武の雄々しさを
風もかんばしみちのくの
雲雀が原の五月晴れ

平郵便局で
航空郵便取扱

平郵便局では去る二十一日以來航空郵便物を取扱つてゐるが差出方法は左の如き料金の切手を貼付し書狀に航空郵便と書くだけで區域は東京、大連、朝鮮、滿洲間である。

有封書狀四匁迄內地十五錢、朝鮮間三十錢、無封書狀十匁迄十五錢、朝鮮三十錢、葉書七錢、十五錢、封緘葉書十五錢、五十錢、新聞雜誌類二十匁迄二十五錢、五十錢、小包二百匁迄一圓、二圓、百匁毎に五十錢、一圓增

當選御禮

大浦村々會議員改選に際し各位の御同情により當選仕候段感謝に不堪候略儀ながら紙上を以て御禮申述候

昭和四年六月廿七日

酒井音治
早川鐵藏
吉田忠太郎
鈴木忠治
佐久山甚之助
吉田久之進
愛川軍治
酒井良平
根本權次郎
渡邊周平
片寄左京
箱崎熊八

鳥季節御料理　柳川
舞子　井
仕出しは迅速配達致します
平町南町本館隣り
鰻　蒲燒　魚榮
電話四二四番

印刷物は加納活版所

貨物自動車

御依頼に應じ運轉仕候

平町田町三
野崎自動車部
電話六五九番

ビクター新譜着
モダン東京　誠に良い
丸の内メロデー　ジャヅソング
浪花小唄
蓄音器の修繕は安く良く早く
平　電話一九三番
大谷時計病院

◆二十八日替り　三大モダン名番組
◆澤田清が完成せる「天保艶記」に對陣し松竹キネマが競作せる大名畫　主演林長二郎、千早晶子
天保異聞　天保悲劍錄　全
怪盜……妖婦……俠客……入亂れて凄慘なる天保年鑑の世相を赤裸々に描く……松竹全力傾注映畫……
◆日活現代派超大作品　東京日々新聞連載◆
原作……加藤武雄　監督……田阪具隆
巨作　饗宴　全
主演者　夏川靜江、瀧花久子、佐久間妙子、入江たか子、築地浪子、津島ルイ子、神田俊二、島耕二、竹村鐵二、南部章三、三樹豐、横山運平
◆日活超特作連續時代名畫　◆雜誌「富士」連載名作
原作……三上於菟吉　監督……清瀨英二郎
美男劍士……澤田清全努力快作
最終篇　落花劍光錄　全
助演　櫻井京子、常盤操子、尾上華丈、澤蘭子、高瀨實、小松みどり、中村英雄、山本絹枝
病床を蹴って龍之助、お銀の方の行列に斬入つたが、村正は血に狂ふで行く……闇に叫ぶ怪しの聲は？
土日曜學生デー　日活　松竹　平館　電四六六

祝　原町支局開設

皆樣の娛樂場
帝キネ直營
旭座
經營主　松山翠城
支配人　松井玉翠

庭園請負
皐月各種
西洋草花
盆栽苗木
成育販賣
綠樹園
庭園師　諸井定次
原町東一番町

ラヂオ部分品
溫室草花
精米雜穀
其他賃搗
橋本商店
電話架設中
原町仲町（白岩鐵工場隣）

原町藝妓屋組合

福島電燈株式會社
原町營業所

磐城無盡商會
原町事務取扱所
電話十番
主任　成瀨振一郎

度量衡
萬金物
佐藤清四郎商店
電話五十七番

銘酒「松の友」醸造元
福島縣原町
松本酒造店
電話一五番

福島縣原町
材木問屋　渡邊禮五郎
電話三〇番

常磐線原町
松永七之助商店
電話二番

內外材木問屋
星林治
相馬郡原町
電話一二五番

原町役場
吏員一同